

# 茨建協

## ニュース

IBAKENKYOU NEWS

2025.7 NO.672



## 茨城景観百選

### 大洗サンビーチ海水浴場 (大洗町)

大洗サンビーチ海水浴場は、東西約 350m、南北約 1.3km の広大な砂浜に遠浅の透明な波が縁取る美しい海水浴場です。大洗港の防波堤の影響から南の海岸に砂が集まり広大なビーチが形成されました。これを昭和 59 年に海水浴場としてオープンしました。

### CONTENTS

- チャリティーゴルフ大会を開催
- 白田氏、松浦氏が国土交通大臣表彰
- みんなで防ごう熱中症！
- 各支部が講習会や献血活動

# 善意寄付金20万円を贈呈

## 第10回支部対抗チャリティーゴルフ大会

本会は6月2日、第10回支部対抗チャリティーゴルフ大会を潮来市のジェイゴルフ霞ヶ浦で開催しました。集まったチャリティー金20万円は茨城県アイバンクと茨城新聞文化福祉事業団に寄付。団体戦では竜ヶ崎支部が昨年に続き連覇を達成。個人は男子が横須賀靖氏（常陸大宮支部）、女子は野内美樹氏（大子支部）が優勝しました。

大会には各支部から35組総勢136人（男子126人、女子10人）が参加。新ペリア方式で競いました。

チャリティー金の贈呈について石津会長は「参加された皆さまの協力を深く感謝申し上げます」とあいさつ。

県アイバンクの佐々木孝夫常任理事は「貴重な寄付金を有効に活用させていただく」と感謝の意を表しました。本会は県アイバンクと協力協定を締結し、献眼や角膜移植の普及啓発に協力しています。

茨城新聞社の川上俊也専務取締役も「文化・福祉のために有効に使わせていただく」とあいさつしました。



優勝した竜ヶ崎支部



石津会長（中央）が茨城新聞社の川上専務取締役（左）と県アイバンクの佐々木常任理事（右）に寄付金を贈呈

成績上位の支部と個人は次の通りです（敬称略）。

### 【団体】

- ◆優勝＝竜ヶ崎支部
- ◆準優勝＝常陸大宮支部
- ◆3位＝水戸支部

### 【個人（男子）】

- ◆優勝＝横須賀 靖（常陸大宮支部）
- ◆準優勝＝木村 晃（水戸支部）
- ◆3位＝大竹 幸男（竜ヶ崎支部）
- ◆4位＝内藤 裕一（水戸大宮支部）
- ◆5位＝樫村 秀樹（高萩支部）
- ◆6位＝石橋 久志（潮来支部）
- ◆7位＝高田 稔美（土浦支部）
- ◆8位＝中野 章（高萩支部）
- ◆9位＝増川 剛（竜ヶ崎支部）
- ◆10位＝菊地 和幸（境支部）
- ◆ベストグロス賞＝大久保智弘（常陸大宮支部、グロス73）

### 【個人（女子）】

- ◆優勝＝野内 美樹（大子支部）
- ◆準優勝＝雲井万貴子（本部女子）
- ◆3位＝野中 恵（同）



男子優勝の横須賀氏

女子優勝の野内氏

## 白田常任理事、松浦常任理事が 建設事業関係功労で国土交通大臣表彰 おめでとうございます

令和7年度の建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰として、本会から白田唯雄常任理事（白田工建代表取締役社長）、松浦一久常任理事（松浦建設代表取締役社長）が受賞されました。まことにおめでとうございます。更なるご活躍を祈念いたします。

### 白田 唯雄（はくた・ただお）氏

白田氏は昭和35年生まれ、65歳。茨城県立真壁高等学校卒業後、昭和53年に白田工建(株)に入社。58年に代表取締役社長に就任。

本会では令和6年から筑西支部支部長。本部では平成20年から理事、令和6年から常任理事を務めており、本会の発展と地域社会に貢献されています。



#### 白田常任理事の話

「この度の受賞、誠に光栄に存じます。石津会長をはじめ諸先輩、支部会員など多くの皆様からのご指導ご支援に感謝申し上げます。受賞を契機に一層、日々精進してまいります」

### 松浦 一久（まつうら・かずひさ）氏

松浦氏は昭和35年生まれ、65歳。東洋大学工学部建築学科を卒業後、大成建設(株)を経て、昭和63年に松浦建設(株)に入社。平成13年から代表取締役を務めています。

本会では平成26年から竜ヶ崎支部副支部長。本部では平成24年から理事、令和6年から本部常任理事を務めている。



#### 松浦常任理事の話

「受賞にあたり協会をはじめ、支部会員、諸先輩方のご指導、ご支援に感謝申し上げます。今後とも業界の発展に貢献できるよう尽力する所存です」

## 田口常任理事 全中建会長表彰を 受賞

全国中小建設業協会の令和7年度定時総会（6月19日、東京グランドホテル）におきまして、全中建茨城の田口恵一郎氏（本会常任理事、水戸支部長、田口建設工業(株)代表取締役）が建設業振興功労として会長表彰を受賞されました。まことにおめでとうございます。さらなるご活躍を祈念いたします。

### 女性の入職定着テーマに

## 建女ひばり会が会員交流会

本会の建女ひばり会（柳瀬香織会長）は6月5日、会員交流会をホテル・ウエストヒルズ水戸で開催しました。

第一部の研修会では金杉建設工事管理本部長でインフラDX推進

部室長の小俣陽平氏を招き、『建設DXに向けた社内体制づくり』と題した講演を実施。第二部の情報交換会では、女性の入職促進や定着をテーマに、グループに分かれて意見交換しました。



## 令和7年度計画を協議

建築委員会



本会の建築委員会（松浦一久委員長）は6月30日、令和7年度の第1回委員会を水戸市の県建設センターで開催し、事業計画などについて話し合いました。松浦委員長は「茨城県土木部との意見交換会における提案議題を中心に検討いただきたい」とした上で、年間の活動について「皆さんの意見を反映しながら、本年度も積極的に展開していきたい」とあいさつしました。

## 三県合同会議の提案議題など

人財開発委員会



本会の人財開発委員会（高橋修一委員長）は5月28日、令和7年度第1回目の会合を水戸市の協会本部で開催し、北関東三県合同会議の提案議題や事業計画などについて話し合いました。そのうち三県合同会議の提案議題では、時間外労働削減に関する問題点や課題、外国人材の活用に関する問題点や課題について盛り込む方針が話し合われました。

## 死亡災害ゼロ推進大会開く

建災防県支部



建設業労働災害防止協会県支部（石津健光支部長）は6月19日、令和7年度の建設業「死亡災害ゼロ」推進大会を水戸市の県建設技術研修センターで開催。安全講話を通して絶対無事故を再確認しつつ大会決議を採択し、死亡災害ゼロを皆で誓い合いました。石津支部長は「建設業が健全に発展していくためには労働災害を無くしていくことが最も重要。一丸となり、労災ゼロに向かって取り組む必要がある」と呼び掛けました。

## 意見交換進め課題解決へ

県建産連が総会



本会も加入している茨城県建設産業団体連合会（会長・石津健光本会会長）は6月24日、令和7年度定時総会を水戸市の茨城県建設センターで開催し、令和7年度の事業計画を決定しました。意見交換や情報交換を推進し、団体間の意思疎通を図ることを確認し合いました。

# 園児と「砂場クリーン作戦」

建設未来協議会



本会の建設未来協議会（櫻井俊一会長）は6月13日、ひたちなか市の平磯保育園で「砂場クリーン作戦」を実施しました。参加した園児とその保護者が砂場の清掃活動や重機操作、配管ブロック組立を体験。建設業の役割や魅力、楽しさを伝えました。櫻井会長は「体験を通して、建設業の楽しさを知ってもらえたらうれしい」とあいさつ。砂場クリーン作戦は衛生的で遊びやすい砂場を再生し、安全に遊んでもらうことを目的に平成26年度から実施しています。

# 東海第二発電所現場を視察

建女ひばり会



本会の建女ひばり会（柳瀬香織会長）は6月13日、令和7年度の見学会を東海村の東海第二発電所で実施しました。原子力館にて東海第二発電所の安全性向上対策工事、使用済み核燃料を安全に保管するドライキャスクの概要などを聞いた後、原子力館屋上から発電所全景を視察。その後、工事現場と発電所の外周を見て回りながら工事内容について理解を深めました。

**1** 水分・塩分はこまめに補給！

**2** 涼しいところで休憩！

## みんなで防ごう！ 熱中症

いつでもどこでもだれでも、条件次第でかかりやすいのが熱中症。特に労働をしているときなどは発症しやすく、症状が深刻なときは命の危険にさらされることもあります。正しい知識と適切な予防法があれば、未然に防ぐこともできるので、熱中症にかかる前からきちんと対策をして、暑い夏を乗り切りましょう。

**3** 「おかしいな？」と思ったらすぐ報告！

厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

## 熱中症が発生！その時どうする？

**応急処置その1** 涼しい場所に避難！  
ここに横になって！

**応急処置その2** 衣類をゆるめる  
ラクにして

**応急処置その3** スポーツ飲料で水分補給！  
水分補給をしないと！  
水よりスポーツドリンク！  
塩分や糖分を摂った方がいい！

**応急処置その4** 身体を冷やそう！  
どうしよう 熱が引かない？  
こういときは、首やワキの下、太ももの太い血管の上を冷やした方がいいんですって  
あとは、血管が多く集まる手足も冷やそう

ここで絶命した  
措置はあくまで応急手当て！  
自力で水分補給できない場合は  
医療機関へ連絡・搬送しよう

**WBGT値を活用しよう**

WBGT値は「暑さ指数」ともいって、熱中症のリスクが判断できます。気温だけでなく、湿度や太陽から反射した熱（放射熱）も考慮した値です。

WBGT値のリスク区分（例）

注意	警戒	厳重警戒	危険
25℃未満	25～28℃	29～31℃	31℃以上

熱中症予防Eポス  
● 涼やかなウェアなど軽い運動を行い、暑さを上手に避けておこう！  
● 作業中は、十分な水分・塩分を摂ろう！  
● 少しでものぼせを感じたらすぐに休憩しよう！

熱中症についての情報はこちら  
<https://www.mhlw.go.jp/sta/stat/stat/kyoroku/000001003.html>

環境省 熱中症予防情報サイト

厚生労働省

# 支部活動報告

## 水戸支部

### 4社からASPシステム学ぶ



水戸支部（田口恵一郎支部長）は6月11日、県水戸土木事務所（成瀬真勝所長）と情報共有システム（ASP）に関する講習会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。数多くの工事で運用実績がある4社からASPの機能を学びました。田口支部長は「この研修を通じて得られる技術が今後の業務に役立つことを祈念している」とあいさつしました。

## 太田支部

### 出水期前に合同訓練



太田支部（梅原基弘支部長）は5月28日、県常陸太田工事事務所（栗原栄所長）と出水期前の河川における合同防災訓練を常陸太田合同庁舎で実施。災害時の応急対応業務やパトロール支援システム「Ri-Pass」（リーパス）の内容について相互に確認しました。合同での防災訓練は5月13日に道路編を実施。同20日には県や関係機関などと連携して行われました。

## 太田支部

### 源氏川沿いで除草活動



太田支部（梅原基弘支部長）と建設未来協議会（櫻井俊一会長）は6月5日、除草ボランティア活動を山吹運動公園の源氏川沿いで行いました。地域住民や観光客など訪れる人が景観を楽しめるよう、地域貢献活動に従事しました。梅原支部長は「熱中症対策や安全作業に気を配りながら、作業をお願いしたい」と呼びかけました。

## 太田支部

### 業界動向など県と意見交換



太田支部（梅原基弘支部長）と県常陸太田工事事務所（栗原栄所長）は6月11日、令和7年度の意見交換会を実施。県土木部施策の最近の動きや質疑応答などを通じて、建設業を取り巻く現状について意見を交わしました。梅原支部長は「業界は多くの課題に直面しているが、DXや生産性向上に努めることが、地域の守り手としての役割」と有意義な意見交換を期待しました。

## 大子支部

### 学生とオオキンケイギク駆除



大子支部（大藤博文支部長）は5月27日、オオキンケイギク駆除作業を県立大子特別支援学校と共同で実施しました。支部会員や同校中等部のほか、県大子工務所や町生活環境課からも応援が駆け付け、駆除作業に汗を流しました。益子勇副支部長は「支援学校の皆さまには、今後も課外授業の一環として、駆除作業を体験してもらえたら」と話していました。

## 大子支部

### 安全管理の講習会開催



大子支部（大藤博文支部長）は6月12日、熱中症対策や時間外労働などをテーマとした安全管理講習会を開催しました。水戸労働基準監督署の山田実安全衛生課長から講和を聞くなどして労働災害防止などの取り組みに理解を深めました。大藤支部長は「本講習会が健康管理や労災防止について考える場となれば幸い」と述べました。

# 支部活動報告

## 銚田支部

### 熱中症対策など県と意見交換



銚田支部（羽生義隆支部長）は6月4日、県銚田工事事務所（松本隆弘所長）および鹿行水道事務所（清水敏治所長）と令和7年度の意見交換会を支部会館で開催。熱中症対策や働き方改革に関して話し合いを深めました。羽生支部長は「人材確保などの課題を解決し、厳しい環境の中でも地域の守り手としての責任を果たしていきたい」と述べました。

## 銚田支部

### 刈払機事故防止へ安全講習



銚田支部（羽生義隆支部長）は6月23日、県銚田工事事務所（松本隆弘所長）と令和7年度の現場担当技術者安全講習会を支部会館で開催。講話を通じて刈払機の労働災害防止対策に関する知識を深めました。羽生支部長は「除草工事をはじめ多様な工事で使用する刈払機の安全な使用について、講習会で学んだ知識を各社に持ち帰って広めてほしい」とあいさつしました。

## 潮来支部

### 鹿行建設業安全大会開く



潮来支部（松崎里志支部長）は6月17日、第23回鹿行地区建設業安全大会を鹿嶋市の高正U&Iセンターホール（鹿嶋勤労文化会館）で開催し、安全衛生意識を再確認。松崎支部長は「建設業は地域を支える基幹産業である一方で、重大災害につながりやすい側面を持つ。これからの時期、熱中症予防にも一歩踏み込んだ対策を講じてほしい」と呼び掛けました。

## 土浦支部

### 県と事務事業打合せ会議



土浦支部（小林伸行支部長）と土浦土木事務所（丹正史所長）など県出先6所は6月13日、令和7年度第1回の意見交換会を開催。本年度の主要事業に関する説明のほか、熱中症対策や担い手確保、支部要望などを議題とし、活発に意見交換しました。小林支部長は「本日の意見交換会を有意義なものとする。安全衛生管理や熱中症への対応も重点的に取り組む」と述べました。

## 常総支部

### 都内の地下調節池を視察



常総支部（中川原勇支部長）は6月23日、「環状七号線地下広域調節池（石神井川区間）工事」の現場代理人研修視察を実施しました。神田川・環状七号線地下広域調節池と、白子川地下広域調節池を連結する総延長5.4kmのトンネル式地下広域調節池を、シールド工法で構築する治水対策工事現場。当日は工事担当者から説明を受けながら、地下50mの深さまで視察しました。

## 常総支部

### 女性職員が視察研修



常総支部（中川原勇支部長）は6月3日、女性職員による研修視察を埼玉県春日部市の首都圏外郭放水路などで実施しました。首都圏外郭放水路は「防災地下神殿」とも呼ばれ、埼玉県を通る国道16号の地下50mに建設。この地域一帯の洪水被害を軽減するため整備されました。参加者からは「幻想的な雰囲気の中、楽しく見聞を深めることができた」といった声があがりました。

常総支部

# 献血活動に協力

境支部



### 【常総支部】

常総支部（中川原勇支部長）は6月5日、支部にて献血活動を実施しました。会員企業社員のほか、県常総工事事務所職員など112人が来場。今回で22年目となります。昨年には、日本赤十字社から長年の貢献に対し金色有功章を受章しました。中川原支部長は「今後も社会貢献を続けていきたい」と語っています。

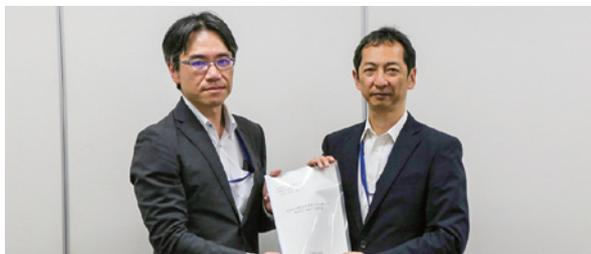


### 【境支部】

境支部（新井孝支部長）は6月4日、支部にて献血活動を行いました。会員企業の社員または家族、県境工事事務所職員など、約50人が参加。午前10時から午後4時までの間に多くの人が献血に協力しました。献血活動にあたり、新井支部長は「6月に毎年行っており、今後も地域貢献を続けていきたい」と語りました。

## 県内の受注機会増を

県土木部が国へ要望



和賀土木部長（左）が佐近所長に要望書を手交しました

茨城県土木部は6月18日、国土交通省常陸河川国道事務所を訪れ、「国の直轄工事における茨城県内建設業者の受注機会等の確保」について要望書を手渡しました。和賀正光部長は、県内建設業について「皆さま方と認識は同じ」としながら、「県内建設業者の受注機会の確保に特段のご配慮をいただきたい」として佐近裕之所長に要望書を手交しました。

## 建設現場を描いた図画

小中学生から募集

本会は、令和7年度「建設現場を描いた図画コンクール」の作品を募集しています。県内の小学生3年生から中学生までに、建設現場で働く人や建設機械などを描いてもらうものです。取り組みを通じて建設業への理解を深めてもらい、業界のイメージアップを図ります。

過去の作品や募集要項などは、本会ホームページ「図画コンクール」に掲載しています。

## 会員の動向

### 〈代表者変更〉

▽常陸大宮支部

小林建設工業(有) 小林 由夫 → 富施 浩次  
 (株)高野工務店 高野 潔 → 高野 弘康

知ってほしい、より安心の制度

法定外労災  
補償制度

# 建設共済保険

お問い合わせ 公益財団法人 建設業福祉共済団

フリーダイヤル **0120 - 913 - 931**

URL : <https://www.kyousaidan.or.jp/>

掛金負担が軽減

手厚い補償

労働者と企業のリスクをカバー